

## 守山まるごと活性化 議事要旨

会議名: 第8回 B みんな集まれ! 中洲にぎわい活力創出プロジェクトプロジェクト推進会議

日時: 平成29年3月9日(木) 午後7時30分から8時50分まで

場所: 中洲会館 2階 大ホール

出席者: 木村穂、北村、井入、辻、樋上、山本

出席者(行政): 館長、会館主事

使用資料: 次第、バルーンアート実施結果

## 議題

- ・バルーンアートの振り返り
- ・今年度の活動のまとめ
- ・その他

## 会議要旨

## 内容

- バルーンアートの振り返り
  - ・事務局より、資料をもとに説明。
  - ・バルーンアート用風船については、当初プロジェクト内で500本用意することになっていたが、講師の先生が400本で良いと仰ったので、400本用意した。うち、350本を使用した。
- 《意見・感想》
  - ・子どもがたくさんブースに来てくれた。
  - ・作品を一つもらっても、またもらいに来てくれる子がいた。
  - ・先生が犬と剣の作り方を教えてくれたが、子どもには難しいところがあった。子どもも作る体験をしたが、先生が作ったものをあげたりした。
  - ・先生のまわりに集まって、作り方の説明が聞き取りづらかったため、急遽マイクとアンプを用意した。
  - ・予算に対しては、成功した。
- 今年度の活動のまとめ
  - 【今年度の実績】
    - ・中洲小学校5、6年生対象に夏まつり、ふれあいの灯に関するアンケートを実施
    - ・なかす夏まつりにおいて、「ぶどうの重さ当て&梨の皮むき大会」を実施
    - ・中洲ふれあいの灯において、「バルーンアート」を実施
  - 【今年度の課題に関する意見】
    - ◆生活慣行の見直しについて
      - ・今年度当初に計画していた自治会長会への検討依頼をしていなかった。
      - ・生活慣行(生活改善)については、段々と派手になっていたものを抑えるために、10年以上前に各自治会で見直した。
    - 学区で見直す場合は、Bプロジェクトで協議したら良いが、各自治会で見直す場合は、Bプロでの協議は不要。一旦、来年度第1回目の会議に各自治会の生活慣行資料を持ち寄って内容を確認し、学区で統一する必要があるれば自治会長会に提案する。

(裏面に続く)

## 決定事項

## 次回以降について

- ・平成29年度計画を立てる
- ・各自治会の生活慣行資料を持ち寄り、見直しが必要か検討する。

次回会議は平成29年4月18日(火)午後7時30分～

## 会議要旨

### 内容

#### ◆まちづくり活動への若者の参加促進について

- ・大学生がまちづくり活動に参加したら、補助金があると聞いた。
- ・義勇消防のなり手がない。
- ・会議に出席するのは年配ばかり。
- ・小学生は運動会に参加するが、中学生以上になると部活があるため、参加率は悪い。中学校へは、自治会の防災訓練には参加させるよう申し伝えている。
- ・明富中の生徒がもりやま市に出店しているので、なかず夏まつりにも明富中に関わってもらうのはどうか。(例 模擬店、イベント 等)
- ・にぎわいを創出するには、人を呼び込まないといけない。ビワイチやモリイチの波に乗るのはどうか。各自治会にある名所のマップをBプロで作り、若者にマップを渡して自転車で走るイベントを興してもらおう。また、B級グルメを各町で作るとか。イベントをするにあたっての下準備はBプロで行い、実施を若者に任せたほうが良い。